

SD

プログラム番号 08211~2C

若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座①②

■講師



秦 敬治

(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長 教授)

西南学院大学商学部経営学科卒業。九州大学大学院人間環境学研究所発達・社会システム専攻修士課程修了。同専攻博士課程単位修得満期退学(教育学博士)。学校法人西南学院本部・大学経理課係長(主査)、愛媛大学経営情報分析室助教授を経て現職。



仲道 雅輝

(愛媛大学 総合情報メディアセンター兼教育企画室 助教)

日本福祉大学社会福祉学部卒業。熊本大学社会文化科学研究科教授システム学専攻博士前期課程修了。平成7年から日本福祉大学事務職員、平成23年より愛媛大学にてFD・SDや学生能力開発、授業コンサルテーションに携わる。研究課題は全学的eラーニング推進とICT活用教育の普及。専門は教育工学、インストラクショナル・デザイン(ID/教育設計)。



松井 千代美

(松山大学 学生部 学生課 課長補佐)

大阪学院大学商学部卒業 松山大学職員に採用 経理・図書館・入試・教務・国際センター業務を担当、平成24年4月より2度目の学生課配属。学生との関わりにおいて、インターカーの必要性を感じ、カウンセラーの資格を取得し、学生支援に取り組んでいる。SPOD 講師養成研修修了生。

■プログラム概要

判断・決断は、上司や役職者だけが行うものと思いませんか。若手・中堅職員でも業務の中で、リーダーとして判断・決断を行う機会が多々あると思います。どのように判断・決断を行っていますか？判断と決断の違いとは何でしょうか？また、判断を速やかに行うには何が必要であり、決断を下すには何をもとに行えば良いのでしょうか？判断や決断が速やかな人は好感が持たれますが、その判断や決断が誤っていると信頼を失います。さらに、賛成者が多い、意見が出ない提案は必ずしも良いことだとは限りません。

本セミナーでは、判断力と決断力の違い、それらを効果的に行うために必要な条件を理解した上で、判断・決断を行う場面を設定した上で、実践トレーニングを行うことでスキルの向上を図ります。当日は、レクチャーやグループワーク、ディベートなどを組み合わせ、進めていきます。

■主な受講対象

自らが若手・中堅職員であると思われる方であれば、どなたでもOKです。

■本プログラムの到達目標

1. 判断力と決断力の違いを説明することができる
2. 組織の中で判断力・決断力が何のために必要なのかについて、説明することができる
3. 効果的な判断・決断を行うためのコツを説明することができる
4. 様々な場面で効果的な判断と決断を下すことができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月21日(水) 10:00~15:00

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージアム 2階 M24教室

定 員 : 60名